様式第１

　　　　　　ばい煙発生施設設置（使用、変更）届出書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　　月　　　日

 熊谷市長 　　宛

　　　　　　　　　　　　　　　　　 氏名又は名称及び住所

　　　　　　　　 　　　　 並びに法人にあっては

 　　　　　　　　　　　　　 その代表者の氏名

　大気汚染防止法第６条第１項（第７条第１項、第８条第１項）の規定により、ばい煙発生施設について、次の

とおり届け出ます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |   |  |   |  |  |
|   |  |  ※受理年月日 |  　　　　年　　月　　日 |
|   |  |   |  |
|   |  　　　　別紙１のとおり。 |   |  |
|  ばい煙発生施設の使用の方法 |  　　 別紙２のとおり。 |  ※備　　　考 |  |
|   |  　　 別紙３のとおり。 |

　備考　１　ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第１に掲げる項番号及び名称を記載す　　　　　ること。

　　　　２　※印の欄には、記載しないこと。

　　　　３　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。 　　 ４　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とする　　　　　こと。

別紙１

　　　　　　　　　　　　　　ばい煙発生施設の構造

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |   |  |  |  |
|   |  |  |
|   |  　　　　　年　　月　　日 |  　　　　　年　　月　　日 |
|   |  　　　　　年　　月　　日 |  　　　　　年　　月　　日 |
|   |  　　　　　年　　月　　日 |  　　　　　年　　月　　日 |
|  規 |  （ｍ２） |  |  |
|  （重油換算 ℓ/ｈ） |  |  |
|  （ｔ/ｈ） |  |  |
|  |  模 |  |  |  |  |
|  （ｍ２） |  |  |
|  （ＫＶＡ） |  |  |
|  触媒に付着する炭素の燃焼能力（㎏/h） |  |  |
|  （㎏/h） |  |  |
|  （ｍ３） |  |  |
|  （ＫＡ） |  |  |
|  （ＫＷ） |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  （㎏/h） |  |  |  |

　備考　１　設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月　　　　　日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞ　　　　　れ記載すること。

　　　　２　規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第１の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目につ　　　　　いて記載すること。

　　　　３　ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格Ａ４の　　　　　大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

別紙２

　　　　　　　　　　ばい煙発生施設の使用の方法

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  　　 工場又は事業場における施設番号 |  |  |  |
|  使用状況 |  １日の使用時間及び月使用日数等 |  　時～　　　　 時 　 時間/回　 回/日　 日/月 |  　　 　時～　　　　 時 　 時間/回　 回/日　 日/月 |
|  　 |  |  |
|  原材料 （ばい煙 の発生に 影響のあ るものに 限る。） |  　 |  |  |
|  　 |  |  |
|  |  |  |  |
|  　原材料中の成分割合　（％） |  いおう分 ｶﾄﾞﾐｳﾑ分 |  鉛　　分 弗 素 分 |  いおう分 ｶﾄﾞﾐｳﾑ分 |  鉛　　分 弗 素 分 |
|  　 |  |  |  |  |
|  |  |
|  燃料又は 電力 |  　 |  |  |
|  　（％） |  灰　分 |  いおう分 |  窒 素 分 |  灰　分 |  いおう分 |  窒 素 分 |
|  　 |  |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  　 |  |  |
|  　 |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  排出ガス 量（Nm３／h） | 湿り |  最大 |  通常 |  最大 |  通常 |  |
| 乾き |  最大 |  通常 |  最大 |  通常 |
|  　（℃） |  |  |
|  　（％） |  |  |
|  ばい煙の 濃度 |  （g/ Nm３） |  最大 　　通常 |  最大 　　通常 |
|  （容量比ppm） |  最大 　　通常 |  最大 　　通常 |
|  カドミウム及びその化合物 　　　　　　 （mg/Nm3） |  最大 　　通常 |  最大 　　通常 |
|  （mg/Nm3） |  最大 　　通常 |  最大 　　通常 |
|  （mg/Nm3） |  最大 　　通常 |  最大 　　通常 |
|  弗素、弗化水素及び弗化珪素 　　　　　　　　 （mg/Nm3） |  最大 　　通常 |  最大 　　通常 |
|  鉛及びその化合物 （mg/Nm3） |  最大 　　通常 |  最大 　　通常 |
|  （容量比ppm） |  最大 　　通常 |  最大 　　通常 |
|  ばい煙量 |  （Nm３/h） |  最大 　　通常 |  最大 　　通常 |
|  参考事項 |  |
|  |  |  |  |

備考　１　原材料中の成分割合（％）の欄及び燃料中の成分割合（％）の欄の記載にあたっては、重量比％又は　　　　容量比％の別を明らかにすること。

　　　２　ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

　　　３　ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。

　　　４　参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の　　　　状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機　　　　関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用（専ら非常時において用いられるものをい　　　　う。）の別を明らかにすること。

別紙３

　　　　　　　　　　　　　　　ばい煙の処理の方法

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  ばい煙処理施設の工場又は事業場における施 設番号 |  |  |  |
|  処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場 における施設番号 |  |  |
|   |  |  |
|   |  　　　　　年　　月　　日 |  　　　　　年　　月　　日 |
|   |  　　　　　年　　月　　日 |  　　　　　年　　月　　日 |
|   |  　　　　　年　　月　　日 |  　　　　　年　　月　　日 |
|  処 |  （Nm３/h）） |  　最　大 |  |  |
|  通　常 |  |  |
|  （℃） |  処理前 |  |  |
|  処理後 |  |  |
|  ば |   （g/Nm３） |  処理前 |  |  |
|  処理後 |  |  |
|   （容量比ppm） |  処理前 |  |  |
|  処理後 |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  理 能 力 |  い 煙 の 濃 度 |  ｶﾄﾞﾐｳﾑ及びその化合物 （mg/Nm３） |  処理前 |  |  |  |
|  処理後 |  |  |
|   （mg/Nm３） |  処理前 |  |  |
|  処理後 |  |  |
|   （mg/Nm３） |  処理前 |  |  |
|  処理後 |  |  |
|  弗素、弗化水素 及び 弗化珪素（mg/Nm３） |  処理前 |  |  |
|  処理後 |  |  |
|   （mg/Nm３） |  処理前 |  |  |
|  　処理後 |  |  |
|   （容量比ppm） |  処理前 |  |  |
|  処理後 |  |  |
|  ば い 煙 量 |   （Nm３/h） |  最 大 |  処理前 |  |  |
|  処理後 |  |  |
|  通 常 |  処理前 |  |  |
|  処理後 |  |  |
|  |
|  捕集効率（ ％ ） |  　 |  |  |
|  　 |  |  |
|  　 |  |  |
|  　 |  |  |
|  　 |  |  |
|  　弗素、弗化水素 及び 弗化珪素 |  |  |
|  　 |  |  |
|  　 |  |  |
|  使　用 状　況 |  １日の使用時間 及び 月使用日数等 |  　時～　　　　 時 　 時間/回　 回/日　 日/月 |  　時～　　　　 時 　 時間/回　 回/日　 日/月 |
|   |  |  |
|  Ho（m） |  |  |
|  He（m） |  |  |
|  （m/s） |  |  |

備考　１　設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日

　　　　の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記　　　　載すること。

　　　２　ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

　　　３　補正された排出口の高さ Ｈｅ は、大気汚染防止法施行規則第３条第２項の算式により算定すること。

　　　４　ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添附すること。